

A woman wearing a white hard hat and safety glasses is looking out a window. The window shows a lush green forest. The scene is set in a room with dark wood paneling.

下北山村

森で育む学生拠点創造プロジェクト

～人口800人の小さな村の挑戦～

奈良県下北山村
地域創生推進室

取り組みの背景

地域名：奈良県吉野郡下北山村
人口：890人（2019年）
面積：133.39km²

※村の92%が森林

【課題】

- ・林業の衰退を背景に、人口減少・少子高齢化が進み、地域の担い手が不足。
- ・木材価格の低迷から木の活用が課題となっている。また、都市部への人口流出に伴い、空き家の増加が課題である。

【きっかけ】

- ・関係人口創出事業「奈良・下北山むらコトアカデミー」卒業生の村に貢献したい思いと、村の課題解決に対する考えが一致。
- ・村産材を使ったDIYでの空き家リノベーションを行うことで、関心のある学生が集い、地域活性化に繋がるよう、学生、役場職員、林業関係者、住民が協力一致して本事業に取り組むことにした。



「プロジェクト概要」

- 下北山村が企画・管理・運営を行い、林業課、地元の林産加工所などと連携して関係人口を受け入れ。
- 別事業において既に関係人口であった、慶応義塾大学の学生を関係案内人とし、地域活動に関心のある学生の掘り起こしを行った。

《現地体験ツアー》

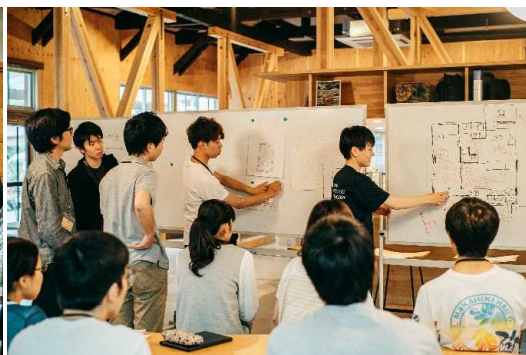
【参加者】21名

- 関西圏、関東圏の大学生が村の住民のお宅訪問や村の山林資源について見学。
- 製材所での木材製材の現場見学や、皮むき、薪割りといった、田舎ならではの体験を実施。
- 学生によるパース、図面作成

《空き家改修DIY》

【参加者】13名

- 現地体験ツアーの参加者や新たに興味を持った学生により、空き家の内装解体作業を実施。住民と共に取り組むことを大切にした。
- 地元中学生との交流を実施し、学生の活動をより地域に浸透させていく取組みを行った。



地域を知る

- 都市部の学生が地域住民との交流を通じて、村のこと考える時間をつくる
- 地域住民の都市部から来る人に対する認知度を高める



空き家の測量～図面作成

- ・拠点となる空き家改修の設計段階から学生が関わる
- ・学生自らが主体的に場づくりを考える



森林資源の調査～製材見学～解体作業



◀ 空き家改修に使用する
森林資源を知る



空き家解体 ▶

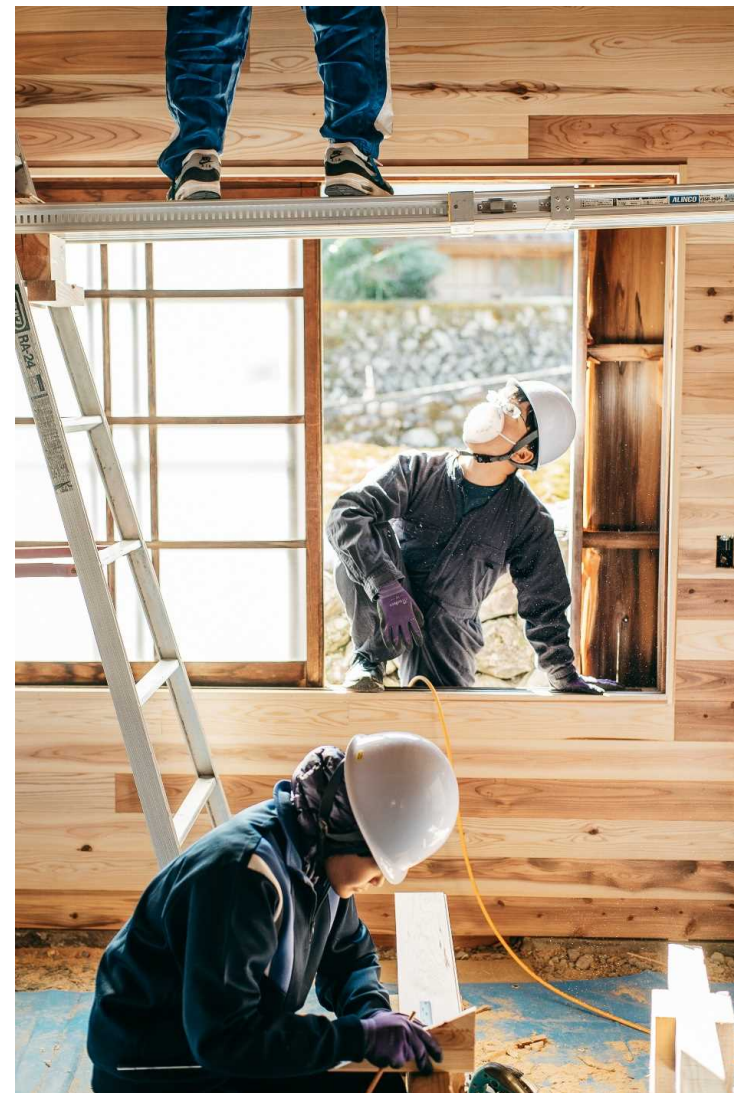
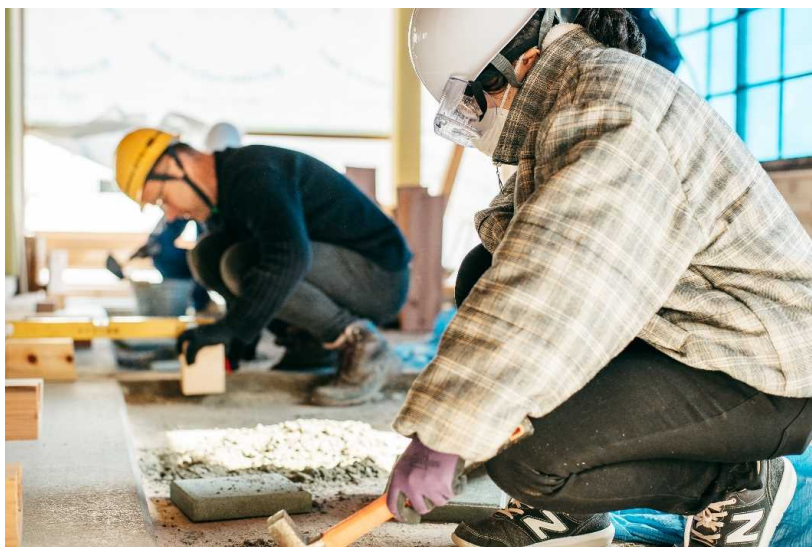


◀ 製材現場の見学



空き家解体 ▶

DIYによる空き家改修



DIYによる空き家改修



これからの取り組み

《学生の拠点》

- ・ 学びの場
- ・ 交流の場
- ・ 得意分野を生かした活動の場

《関係人口づくり》

- ・ 学生との継続的な関わり
- ・ 村に来るきっかけづくり
- ・ 新たな関係人口の創出

《村づくり》

- ・ 地域資源の活用
- ・ 林業の6次産業化
- ・ 地域のことを考える人づくり

